

小児の病棟では、採血など痛みを伴う処置を病室では行わないようにしています。つまり**痛みを伴う処置は必ず、「処置室」で行います**。そこで、少しでも子どもたちの気持ちが和らぐように、2つある処置室を「ミッキーマウス」「プーさん」のキャラクターの壁にしてみました。もちろん壁を可愛くしたからといって、痛みがなくなるわけではありません。

不安や痛みが短時間で終わるように、**医師・看護師と一丸となって子どもたちに接していきたいと思っています**。

新任医師
紹介



よろしく
お願いします

小児科
村田 博昭先生

1月より三重病院に、村田博昭医師が着任しました。さっそく、自己紹介をしていただきましょう。

- ①**出身大学は？**／三重大学（昭和62年卒業）
- ②**専門は？**／小児科・重症心身障害・感染症（インфекションコントロールドクター）
過去に三重病院に2回勤務しています。その他に三重県立総合塩浜病院（現在の三重県立総合医療センター）、鹿児島市立病院、静岡県立こども病院（このときは臨床病理科に所属）、桑名市民病院、国立鈴鹿病院などに勤務しました。
- ③**三重病院の印象、今までの関わりなどがあれば**／今回3回目の三重病院赴任ですが、1回目は昭和62年に急性病棟に4ヶ月間、2回目は平成6年に慢性病棟に1年間勤務しました。以前勤務したときに比べると建物も職員も多くが変わっていますので、全く違う病院に感じています。
- ④**趣味など何かひと言**／クラリネットを吹くこと。音楽を聴くこと（クラシックが多い）。たまに山に登ること。清水エスパルスを応援すること（静岡出身なので）。
前勤務地の国立鈴鹿病院では重症心身障害児（者）診療に携わっており、三重病院でも引き続き重症心身障害児（者）医療を5病棟（南病棟）を中心に担当することになります。また、私の異動に伴い国立鈴鹿病院では小児科医が不在となるため、定期的に鈴鹿病院でも引き続き診療を行います。しかしながら鈴鹿病院の小児の重症心身障害児医療や福祉面の縮小は避けられないため、三重県の重症心身障害児医療、在宅支援における三重病院の役割はこれまで以上に大きくなると考えられます。
- ⑤**外来診療日は？**／2月より、水曜日の小児科3診を担当することになりました。



また、病棟の構造上どうしても必要であった廊下の2本の柱を、小児病棟らしく、丸く、ミドリ色とオレンジ色にしてみました。



食堂

可愛くできたと思います。いかがでしょうか？
(2病棟棟長 坪井 奈巳)

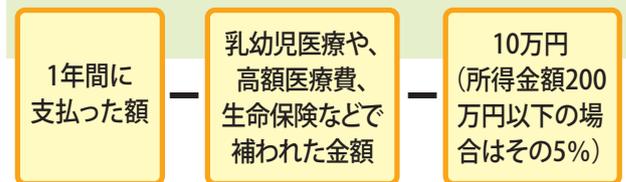
医療福祉相談室だより

⑤ 確定申告の医療費控除

Q 医療費や介護費用に支払ったお金が多い年は、確定申告すると戻ると聞いたのですが？

A 支払った医療費が戻るのではなく、以下の算式で計算した**「控除できる金額」**を、所得から差し引くことができるというものです。その結果、その方の税率によっては納めた所得税が還付される場合があります。医師等による診療はもちろん、入院時の食事代、義歯購入の費用、薬局で購入した薬、6ヶ月以上寝たきりの方のオムツ代、介護保険施設や居宅サービスの費用などが対象になります。予防接種や健康診断は対象外です。過去5年分までさかのぼって控除を受けることが可能です。詳細は、税務署、もしくは医療福祉相談室へどうぞ。

(医療福祉相談室 高村 純子)



控除できる金額